

# 家庭

種 目	発 行 者		教科書の記号・番号	判型	ページ数	検 定 済 年
	番 号	略 称				
保育基礎	6	教図	家庭 006-901	A B	162	令和 8 年
保育基礎	7	実教	家庭 007-901	B 5	176	令和 8 年
フードデザイン	6	教図	家庭 006-902	A B	262	令和 8 年
フードデザイン	7	実教	家庭 007-902	A B	254	令和 8 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

保育基礎		冊数	2冊
発行者の略称・ 教科書の番号	教図006-901 実教007-901		

### 【家庭の目標】

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【保育基礎の目標】

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【保育基礎の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。</p> <p>〔指導項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子供の保育               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 保育の意義</li> <li>イ 保育の方法</li> <li>ウ 保育の環境</li> </ol> </li> <li>(2) 子供の発達               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 子供の発達の特性</li> <li>イ 乳児期の発達</li> <li>ウ 幼児期の発達</li> </ol> </li> <li>(3) 子供の生活と養護               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 乳幼児期の生活の特徴と養護</li> <li>イ 生活習慣の形成</li> <li>ウ 健康管理と事故防止</li> </ol> </li> <li>(4) 子供の福祉               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 児童観の変遷</li> <li>イ 児童福祉の理念と関係法規・制度</li> <li>ウ 子供の福祉を支える場</li> </ol> </li> <li>(5) 子供の文化               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 子供の文化の意義</li> <li>イ 子供の遊びと表現活動</li> <li>ウ 子供の文化を支える場</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 実際に子供と触れ合う学習ができるよう、幼稚園、保育所、認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図り、指導の充実に努めること。</li> <li>イ 子供の発達や生活の特徴について、保育と関連付けて理解できるよう指導を工夫すること。</li> </ol> </li> <li>(2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 〔指導項目〕の(1)のアについては、適切な養護と教育的な関わりを営む保育の重要性を扱うこと。イについては、具体的な事例を通して心身の状態や発達に応じた保育を扱うこと。ウについては、保育環境としての家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園などの役割を扱うこと。</li> </ol> </li> </ol>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
	<p>イ〔指導項目〕の(2)のアについては、子供が主体的に環境に関わることによって心身の発達が促されることや、発達における個人差などを扱うこと。また、乳幼児期は、特に、基本的人間関係の樹立のために「愛着」が重要であることを具体的な事例を通して扱うこと。イ及びウについては、月齢や年齢に応じた発達の姿を、身体発育、運動機能、認知機能、情緒、人間関係などの様々な発達の側面から全体的に捉えられるよう扱うこと。</p> <p>ウ〔指導項目〕の(3)のイについては、子供の健康な生活に必要な食を営む力など基本的な生活習慣の形成の基礎についても扱うこと。</p> <p>エ〔指導項目〕の(4)のイについては、児童福祉に関する基本的な法規の目的と概要を扱うこと。</p> <p>オ〔指導項目〕の(5)のアについては、子供のための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性を扱うこと。イについては、具体的な活動を通して子供の遊びや表現活動の意義を扱うこと。その際、遊びの重要性及び遊びの種類と発達との関わりについても扱うこと。ウについては、子供の遊びや表現活動を支える代表的な施設を取り上げ、その意義と活用を扱うこと。</p>

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第5節第3款1(1)
b 生活産業に関わる内容	学習指導要領第3章第5節第3款2
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

###### a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る

###### b 生活産業に関わる内容

- ・ 各単元において、生活産業に関わる内容を見取る

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)

- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、保育基礎では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。

b 生活産業に関わる内容

- ・ 学習指導要領では、自分の考え方や情報を的確に伝えたり、まとめたりする活動、創造的に製作する場面において、与えられたテーマに対して互いの考えを伝え合い、イメージをまとめ適切に表現する活動など言語活動の充実を図ることが求められているため、生活産業に関わる項目・題材について調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	家庭
科目名	保育基礎

発行者（略称）	教団
教科書番号	家庭006 - 901
教科書名	新 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【子供の保育】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育の環境」の単元で、子どもが育つ環境や現代における子育ての課題に関するデータがグラフや表として掲載されており、理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「保育の方法」の単元で、年齢に応じた保育の方法について設けられており、年齢ごとの、子どもの発達や生活、遊びの特徴と保育方法がまとめられ、更に写真資料を掲載し理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の発達】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「乳幼児の発育と発達」の単元で、各特徴について、成長に伴う変化が図表や写真で示されており、理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「乳幼児の発育と発達」の単元で、子どものいざこざに対しての保育士としての関わり方について考える演習が設定されており、主体的に考えるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の生活と養護】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの健康と生活」の単元で、「子どもを抱っこしてみよう！」や「沐浴って何だろう？」など、主体的・協働的に取り組む内容の構成になっている。</li> <li>・「子どもの健康と安全」の単元で、現代の日本の子どもの健康課題について、自分には何ができるか考える取組を通して、内容の理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の福祉】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童福祉の理念と法規・制度」の単元で、児童憲章の全文と児童の権利に関する条約を読み比べる活動を通して、法律や制度について理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「児童福祉の理念と法規・制度」の単元で、現代の保育の課題について、保育者の立場で解決方法を考えることを通して、子どもの福祉について理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の文化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもと遊び」の単元で、自分の子どもの頃の思い出や遊びについて振り返る取組を通して、子どもの文化について理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「子どもの表現活動」の単元で、映像やマルチメディア絵本の活用、コンピュータやインターネットの活用などの具体例を掲載することにより、理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
b 生活産業に関わる内容	
【子供の保育】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育の環境」の単元で、保育士や幼稚園教諭、保育教諭への進路の例が紹介されており、保育に係る生活産業に関わる進路を具体的に考えていけるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の発達】	記載なし
【子供の生活と養護】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの健康と安全」の単元で、保育士の仕事に関わる参考動画があり、保育に係る生活産業と関わるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の福祉】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童福祉の理念と法規・制度」の単元で、児童相談所職員のインタビュー記事が掲載されており、実際の仕事の様子を知ることで子どもに係る生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の文化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの表現活動」の単元で、保育に関わる職業に就く人の写真が多く掲載されており、子どもに係る生活産業と関わるよう工夫されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの文化 年中行事と子どもたち</li> <li>・子どもの文化 変化する伝統的な玩具</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの保育 子どもまんなか社会の実現に向けて</li> <li>・子どもの福祉 大人の意のままになる存在</li> <li>・子どもの福祉 児童福祉の法律</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活 子どもの寝具など</li> <li>・子どもの生活 子どものおもな病気</li> <li>・子どもの生活 子どもの安全</li> <li>・子どもの生活 子どもの成長と遊びのなかの危険</li> <li>・子どもの生活 応急処置と救急用品</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声、動画などデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインカラーが採用されている。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻頭「この教科書の使い方」で、学習の進め方を説明するなど、どのような力をどのような順で身に付けていくかを考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	家庭
科目名	保育基礎

発行者（略称）	実教
教科書番号	家庭007-901
教科書名	保育基礎 新訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【子供の保育】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育の環境」の単元で、トピックとして幼児教育・保育の無償化やタブレット端末の導入など時事的な話題が設けられており、保育の環境について理解を深められるように工夫されている。</li> <li>・「保育の環境」の単元で、子どもが育つ環境や現代における子育ての課題に関するデータが掲載されており、データを読み解き自ら課題を発見できるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の発達】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの発達の特性」の単元で、各項目ごとにColumnが設けられており、子どもの発達について理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「子どもの発達」の章末に、出産体験記が掲載されており、親になるということについて理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の生活と養護】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの生活と養護」の単元で、「育児用ミルクをつくってみよう」や「つくってみよう離乳食」など、主体的・協働的に取り組む内容の構成になっている。</li> <li>・「生活習慣の形成」や「健康管理と事故防止」の単元で、基本的な生活習慣での事故や事故の予防策について設けられており、子どもの生活について理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の福祉】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの福祉」の単元で、トピックとして「体罰によらない子育ての推進」が掲載されており、子どもをとりまく課題の解決に向けた活動のきっかけになるように工夫されている。</li> <li>・「子どもの福祉」の単元で、児童虐待の通告・相談のフローチャートが紹介されており、子どもとの関わり方を考えることを通して、子どもの福祉について理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の文化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもと遊び」の単元で、子どもの頃の遊びや家族や地域で経験した行事について振り返る取組を通して、子どもの文化について理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・「子どもの遊びと表現活動」の単元で、「子どもと遊べる簡単おもちゃづくり」や「絵本づくり」、「読み聞かせ」など、体験的な活動ができる構成となっている。</li> </ul>
b 生活産業に関わる内容	
【子供の保育】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育の環境」の単元で、保育所・幼稚園・認定こども園の特徴が表で整理されており、保育に係る生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の発達】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの発達」の章末の出産体験記で、子供に関わる助産師のエピソードが掲載されており、助産師という仕事への理解を深めることで、保育に関わる生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の生活と養護】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活習慣の形成」の単元で、「保育者が遭遇した文化の相違エピソード」が掲載されており、日本と海外の文化の相違の実際を知ることによって、保育に関わる生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の福祉】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援」の単元で、地域の子育て支援を支える「民生委員・児童委員」の記事が掲載されており、保育に関わる生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
【子供の文化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの文化の意義と支える場」の単元で、子供の文化を支える児童文化施設の種類と目的、児童厚生員の職業について説明されており、保育に関わる生活産業を理解するよう工夫されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活 保育者が遭遇した文化の相違エピソード</li> <li>・子どもの文化 児童文化財</li> <li>・子どもの文化 年中行事</li> <li>・子どもの文化 みんなで遊ぼう！伝承遊び</li> <li>・子どもの文化 子どもの成長を祝う伝統行事</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活 社会的な生活習慣</li> <li>・子どもの生活 国際化と子どもの生活</li> <li>・子どもの福祉 子ども観の変遷</li> <li>・子どもの福祉 権利の主体としての子どもへ</li> <li>・子どもの福祉 子どもの権利条約</li> <li>・子どもの福祉 世界の子どもの現状</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達 子ども発達と安全対策</li> <li>・子どもの生活 歯磨き中の事故に注意</li> <li>・子どもの生活 子ども遊びと事故</li> <li>・子どもの生活 睡眠中の子どもの突然死</li> <li>・子どもの生活 応急処置</li> <li>・子どもの生活 子どもの事故を予測しよう</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの保育 男性保育士の誕生</li> <li>・子どもの保育 章末問題</li> <li>・子どもの発達 世界に広がる母子健康手帳</li> <li>・子どもの福祉 児童福祉の法律</li> <li>・子どもの福祉 先進国の子どもたち</li> <li>・子どもの福祉 仕事と子育ての両立</li> </ul>
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻頭「本書の使い方」で、学習の進め方を説明するなど、どのような力をどのような順で身に付けていくかを考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>